

2020年 11月 6日

多気町

合同会社三重故郷創生プロジェクト

中日本高速道路株式会社名古屋支社

報道関係各位

E23 伊勢道「多気ヴィソンスmartインターチェンジ」 2021 年度春に開通予定

多気町(町長・久保 行男)、合同会社三重故郷創生プロジェクト(代表・北川 久芳)および中日本高速道路株式会社名古屋支社(名古屋市中区、支社長・野口 英正)が整備を進めている、(仮称)多気スマートインターチェンジ(smart IC)は、現在土工工事を実施中です。

この度、名称が「多気ヴィソンスmart IC」に決定し、「2021 年度春」に開通する見通しとなりましたのでお知らせいたします。

正式な開通時期につきましては、あらためてお知らせいたします。

本スマート IC をご利用いただくことで、2021 年度春開業予定の民間施設「VISON(ヴィソン)」に、伊勢道上り線(名古屋方面)出口から直接アクセスすることができるようになります。

名 称

名 称: 多気ヴィソンスmartインターチェンジ

通称名: VISON

開通時期の見通し

2021 年度春

多気ヴィソンスmart IC の概要

所在地 : 三重県多気郡多気町

E23 伊勢道 勢和多気ジャンクション(JCT)～玉城 IC 間

※多気ヴィソンスmart IC の開通により、民間施設「VISON」に直接アクセスが可能となります。

※添付の「位置図」「詳細図」をご参照ください。

事業主体 : 多気町、合同会社三重故郷創生プロジェクト、中日本高速道路株式会社名古屋支社

ご利用時間: 24 時間

出入方向 : 上り線(名古屋方面)出口のみ利用可能

※出口専用です

対象車種 : ETC 車載器を搭載した全車種

事業の経緯

2017 年 12 月 26 日 民間施設直結スマートインターチェンジ整備方針の認定

2018 年 7 月 20 日 (仮称)多気スマートインターチェンジ協議会設立

2018 年 8 月 10 日 国土交通大臣から多気町長に対し連結許可

(民間施設直結スマート IC として全国初)

国土交通大臣から中日本高速道路株式会社に対し事業許可

高速道路と直結する民間施設の概要

施設名: VISON(ヴィソン)

会社名: 合同会社三重故郷創生プロジェクト

((株)アクアイグニス、イオンタウン(株)、ファーストブラザーズ(株)、ロート製薬(株))

内 容: 薬草温浴施設、宿泊施設、レストラン、産直市場など

※詳細は添付の「接続する民間施設」をご参照ください。

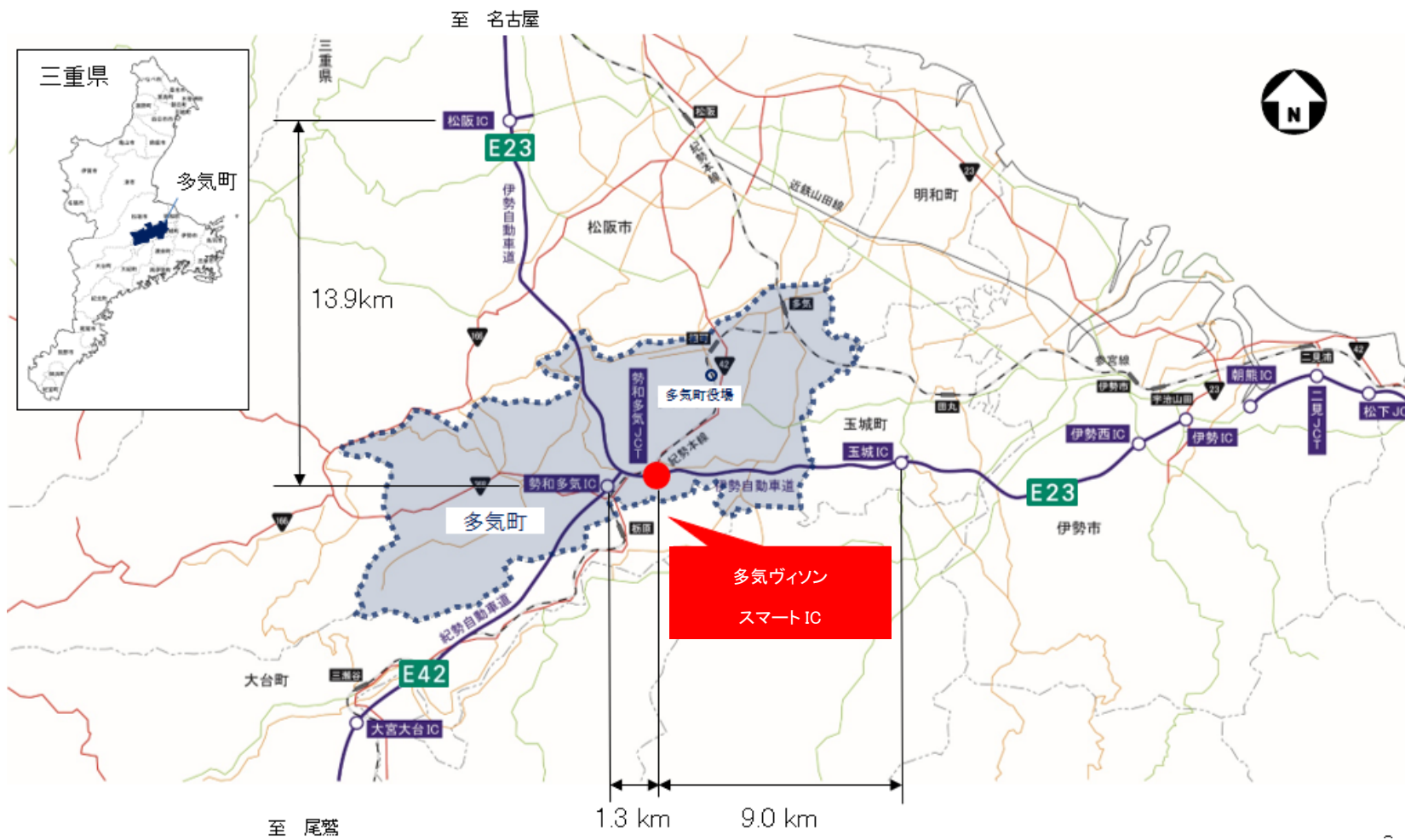
期待される整備効果

- ・民間施設「VISON」へのアクセスの利便性向上
- ・地域経済の活性化
- ・地域の観光軸の強化
- ・防災力の向上

※詳細は添付の「期待される整備効果」をご参照ください。

同時配付先	中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、愛知県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、松阪記者クラブ
お問い合わせ先 (マスコミ専用)	◆民間施設に関すること 多気町 企画調整課 TEL 0598-38-1124(直通) ◆スマート IC に関すること 多気町 企画調整課 TEL 0598-38-1124(直通) 中日本高速道路株式会社名古屋支社 広報・CS 課 TEL 052-222-1183(直通)
お問い合わせ先 (お客さま専用)	◆民間施設に関すること 多気町 企画調整課 TEL 0598-38-1124(直通) ◆スマート IC に関すること 多気町 企画調整課 TEL 0598-38-1124(直通) NEXCO 中日本お客さまセンター(24 時間対応) TEL 0120-922-229(フリーダイヤル) ※フリーダイヤルをご利用にならない場合 TEL 052-223-0333(通話料有料)

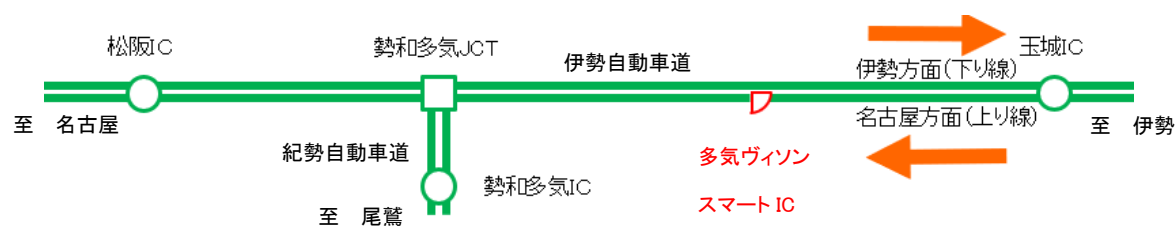
位置図



詳細図



出典:国土地理院



※本スマートICは、上り線(名古屋方面)出口のみご利用可能なため、流出後、再び高速道路に流入するには、一般道を利用して、勢和多気ICなどから流入してください。



(多気ヴィソンスマートIC 出口案内標識の例)

接続する民間施設

全体計画

2014年、三重県多気町からの依頼により本プロジェクトの構想が開始し、2015年10月には株式会社アクアイグニス、イオンタウン株式会社、ファーストブラザーズ株式会社、ロート製薬株式会社の4社からなる合同会社「三重故郷創生プロジェクト」が設立、事業計画がスタートしました。アクアイグニスは飲食・リゾート分野を、イオンタウンは大型商業施設の開発運営、ファーストブラザーズは事業スキーム、ロート製薬は美容と健康の領域を担当。三重にゆかりのある4社がノウハウを結集させ、三重県、多気町、地元大学が共に産学官連携で事業に取り組んでいます。

1. VISONを体感できる3つの宿泊施設



ラグジュアリーな離れのヴィラ、眺望の良いテラス付きのホテル、四季と賑わいを感じる旅籠と、好みや用途に合わせて選べる宿泊施設。

2. 薬草湯で癒す温泉施設



三重大学とロート製薬株式会社が連携し薬草湯のレシピを開発。施設内や周辺の薬草畑の薬草を活用し季節ごとに様々な効能の湯を提供。

3. 三重の産直市場



ミシュランガイド パリ1つ星の「レストラン パーヴェ」のオーナーシェフ手島 竜司氏が、松阪牛や伊勢エビ、鮑をはじめとした三重県産の海の幸、山の幸を集めた産直市場をプロデュース。

4. 国内外の一流料理人と、サンセバスチャン



日本の料理人と海外の料理人が、三重の食材や地元の無農薬食材を使い、共に最高の食文化を発信。また、多気町とサンセバスチャン市は美食を通じた友好の証を締結。サンセバスチャンの人気バルが来店。必見のライフスタイルショップも並ぶ。

5. スイーツ、石釜パン、苺とカカオハウス



辻口 博啓氏によるケーキや石釜で香ばしく焼き上げる石釜パンのほかカカオ園と苺ハウスを併設し、食材の魅力あふれる店舗を展開。

6. 和食文化と魅力の発信エリア



日本の伝統的な料理道具をはじめ、昆布、鰹出汁、醤油、味噌など素材のための工房を備えた、和食関係の専門店が集結。和食の文化や魅力を、味わって学んでショッピングもできる。

7. オーガニック農園、料理学校



施設内のオーガニック農園と農園内のレストランは「キュービー農園・レストラン」として展開。食文化・技術の両面が学べる場としても機能する。

8. MaaSモビリティハブ、自動運転



スマートインターチェンジの新設により、交通の要所であるこの場所を観光プラットホームとして機能させ、三重県内の多くの観光地へスマートに訪れることを可能に。また施設内では自動運転モビリティが走行し、快適な滞在をサポート。

VISON 完成イメージ図



期待される整備効果



①アクセスの利便性の向上

- VISIONが立地すると、伊勢方面から多くの観光客の来店が想定される。
- スマートICが整備された場合、VISIONへのアクセス時間が約4分（約3.0km）短縮され、アクセス性が向上するとともに利用ICが分散され、交通の集中が緩和される。

②地域経済の活性化

- VISIONの立地は、伊勢・志摩地域などの周遊観光の一環に組み込まれることで、更なる集客増加が期待され、広域的な地域経済の活性化が期待される。

③地域の観光軸の強化

- VISIONを拠点とした、広域交通と地域交通を連結する観光プラットフォーム（バスターミナル）の整備により、地域の観光産業活性化が期待される。



出典：国土地理院

④防災力の向上

- 当該地域では、「南海トラフ地震被害想定」において、震度6強の大きな揺れが懸念されている。
- VISIONでは、災害時における避難場所の提供やICを利用した物資の輸送拠点などの機能を計画している。
- 周辺地域から防災拠点へのより迅速で確実なアクセスのため、防災拠点へ直結するスマートICの整備が期待される。

保有機能（予定）

VISION

- 一時避難場所（施設）
- ヘリポート
- 上水・污水处理施設
- バイオガス発電など

求められる防災拠点機能

大規模商業施設

- 一時避難場所の提供
- 救援・救護拠点の提供
- 食品売り場の提供